



夕刊

©朝日新聞社 2005年
発行所 名古屋市中区栄1丁目
3番3号 〒460-8488
朝日新聞名古屋本社
電話 052-231-8131

本に「再生」、世界の笑顔



段ボールで装丁

愛知万博の愛・地球広場にあったエキスポビジョンに笑顔の写真を映し出した「メリーエキスポ」のアートディレクター水谷孝次さん(54)が、万博に登場した笑顔の写真集を出版する準備を進めている。環境万博が提唱した資源のリユース(再使用)の精神を生かすため、装丁は各国パビリオンから集めた段ボール箱を裁断して使う。

(六郷孝也)

愛・地球広場で放映

段ボールで装丁した「メリーエキスポ」写真集のサンプルを手にする水谷孝次さん。段ボールは万博会場で外国館などから集めた11月23日、愛知万博会場で

B5変形判で2000冊ほどの予定。水谷さんが海外23カ国で撮影した約1万人と、国内と会場内で撮った千人から、300人の笑顔と1千人のメッセージを掲載する。

メリーエキスポでは、横20センチ、縦8センチのエキスポビジョンに13分の映像が1日に6回映し出された。「私にとってメリー(幸せ)とは」「将来の夢は」という本人のメッセージも手書き文字や音声で紹介された。水谷さんが会場で撮影した笑顔や来場者が携帯電話のカメラで撮影した笑顔も流された。

写真集は、普通の写真集と同じように大手の印刷会社から発行される。だが装丁は、書名の「MERRY EXPO」と印刷したテープを背表紙に使う以外は、表紙も裏表紙も段ボールを使う。万博終盤と閉幕後、片付けをしていた海外パビリオンやごみ集積場を水谷さんがめぐって、段ボールのデザインや汚れを点検しながら集めた。「ねらいは、その国なら

ではの特徴がある段ボールです」。事務所スタッフとともにカッターナイフで本の大きさに裁断し、準備をしている。

水谷さんは万博の前には、阪神大震災からの復興を目指す神戸や9・11のテロ後のニューヨークで人々の笑顔を撮影して展示するメリープロジェクトを企画した。

万博開催中も自分で費用を負担し、縦14センチ、横70センチの両面に800人の

笑顔を収録した2枚セットのメッセージポスターを印刷。5万セットを、会場内や東京都内で無料配った。

今回の本も赤字覚悟で1冊千円程度で売り出す。「仕事がアートディレクターですから先行投資みたいなもの。でも、万博で笑顔があふれた記録をどこに残したいか」と水谷さん。売り上げは撮影で訪れた際に貧しさが際立った

った南アフリカの学校建設に役立てるつもりだ。

11月下旬には出版したいという。本の形態が通常の流通ルートに乗りにくいので、東京の美術書やデザイン書をそろえた書店や、名古屋市内の主な書店に置いてもらうほか、メリープロジェクトのホームページ(www.21merry.net)で11月から予約を受け付ける。